



Title	特殊講義案 都市と村落
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1966
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77355
Type	manuscript
Note	資料作成年不明（システムの制約のため、発行日には没年を入力した）
File Information	N041_01.pdf



[Instructions for use](#)



COLLEGE NOTE

MADE BY HITSUBASHI NOTE CO., LTD.
USED SUPERFINE FOLSCAP MANUFACTURED IN JAPAN

特殊精義字

都立大 打塔

I



¥25 00

一 都市の発展

一 都市の発展の歴史

一 都市の発展の将来

一 都市の発展の地理的要素

一 都市の発展の社会的要素

一 都市の発展の経済的要素

一 都市の発展の政治的要素

一 都市の発展の文化的要素

一 都市の発展の環境的要素

一 都市の発展の人的要素

一 都市の発展の物的要素

一 都市の発展の法的要素

一 都市の発展の行政的要素

一 都市の発展の教育的要素

一 都市の発展の科学的要素

一 都市の発展の芸術的要素

一 都市の発展の宗教的要素

一 都市の発展の哲学的要素

第一 都市の発展の概念

都市とは、人の生活の中心を形成する空間的・社会的なまとまりを指す。

都市の発展は、地理的・社会的・経済的・政治的・文化的・環境的・人的・物的・法的・行政的・教育的・科学的・芸術的・宗教的・哲学的要素の相互作用によるものである。

都市の発展は、人的要素の中心を形成する空間的・社会的なまとまりを指す。

都市の発展は、地理的・社会的・経済的・政治的・文化的・環境的・人的・物的・法的・行政的・教育的・科学的・芸術的・宗教的・哲学的要素の相互作用によるものである。

都市の発展

都市の発展は、地理的・社会的・経済的・政治的・文化的・環境的・人的・物的・法的・行政的・教育的・科学的・芸術的・宗教的・哲学的要素の相互作用によるものである。

都市の発展は、地理的・社会的・経済的・政治的・文化的・環境的・人的・物的・法的・行政的・教育的・科学的・芸術的・宗教的・哲学的要素の相互作用によるものである。

都市の発展は、地理的・社会的・経済的・政治的・文化的・環境的・人的・物的・法的・行政的・教育的・科学的・芸術的・宗教的・哲学的要素の相互作用によるものである。

都市の発展は、地理的・社会的・経済的・政治的・文化的・環境的・人的・物的・法的・行政的・教育的・科学的・芸術的・宗教的・哲学的要素の相互作用によるものである。

都市の発展は、地理的・社会的・経済的・政治的・文化的・環境的・人的・物的・法的・行政的・教育的・科学的・芸術的・宗教的・哲学的要素の相互作用によるものである。

都市の発展は、地理的・社会的・経済的・政治的・文化的・環境的・人的・物的・法的・行政的・教育的・科学的・芸術的・宗教的・哲学的要素の相互作用によるものである。

都市の発展は、地理的・社会的・経済的・政治的・文化的・環境的・人的・物的・法的・行政的・教育的・科学的・芸術的・宗教的・哲学的要素の相互作用によるものである。

都市の発展は、地理的・社会的・経済的・政治的・文化的・環境的・人的・物的・法的・行政的・教育的・科学的・芸術的・宗教的・哲学的要素の相互作用によるものである。

民族的な土地の固定して片よ
下遊の人を支配し人に土地に結びつけ

の要素を以て片よ。

封建的宗族集団の生活はそれの伴って位

片を設けず大帝であり、位は土地

の固定して片よが一般に多か

人の生活はそれの土地に比較的固

定的なものである。其他の種族の社会関係は

流動的である。改革はそれの

ところの人か一般に宗族生活の

宗族生活の為に一定の位は

とそれの位は土地の固定して片よ

泉種と乳尾

脚土と土

口泉と口土

大都會の通婚圖

常と可なり、乳尾。乳尾自体も一定

の土地の上と比較的乳尾を介して行ふと

乳尾（とたつて行ふ）と。泉種以外の乳尾を介して

乳尾の被采及び被覆さるる場合は、

① 幼い乳尾形に思ふと、授へて考へる方

授へる傾向である。

然しは土地の上と比較的因定して乳尾

② 幼い乳尾と云ふものは、乳尾因

定は、（乳尾上）原始的に土地の上因定して

授へる傾向である。

かくの如く土地と比較的因定して人々

人々の乳尾因定は地上に影を投じて

ルドルフ・コッセルの『政治学』の
Rudolf Cossel へ注意

東洋と政治学

東洋の政治学を整理して考えることは
政治学を整理する必要がある。

東洋国家の地上への投影が一定の地域

の上で展開している一つの独立体の形跡

を認めようとする場合には、その

一つの統一が線形である。それは

東洋の地域の統一である。

東洋の空間的進歩による統一の中心

としての東洋と政治学を地理学と政治学

の二つの方面から東洋の統一を考察する

統一の統一。統一の統一の統一の統一

に形成された統一の統一である。それは

は

Georg Ludwig von Mevius

Geographie der Stillereichnung
in Deutschland (1889-90)

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

Stuebel, Primitive People
Mueler, Herde und Familie in
ihren wirtschaftlichen Entwicklung

特に原始社会の研究は多い
地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

特に近代社会の地理学の研究は多い
地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

Geome, Mevius, Muehlend, Vinnoga
Muel. (このノートの最終ページ参照)

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

Geometrie der Erdkunde: die site antropolige
地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

地理学の歴史は、地理が社会の第一の要素である。地理は、
社会の第一の要素である。地理は、社会の第一の要素である。

第一 社会地区 近隣
 第二 社会地区 自治体 (郡域社会)
 第三 社会地区 行政町村 都市
 第四 社会地区 市町村 郡
 第五 社会地区 郡 又 市
 第六 社会地区 市 町 村

本頁の「社会地区」とは、
 行政上の「社会地区」を指す。

社会地区とは、行政上の社会地区を指す。

社会地区

(社会地区) — 社会地区とは土地の広さ

され、片々、あるいは種別、社会地区

又、行政上の社会地区を指す。

社会地区の集団を指す。

社会地区とは、行政上の社会地区を指す。

社会地区とは、行政上の社会地区を指す。

社会地区とは、行政上の社会地区を指す。

社会地区とは、行政上の社会地区を指す。

社会地区とは、行政上の社会地区を指す。

Olsen - School and Community

地域
調査

ヤング教授は「Social Survey」の著者である。この書は、社会調査の重要性を説き、調査の方法や目的について詳しく述べている。彼は、社会調査が社会問題を明らかにし、社会改革の基礎を提供するものであると主張している。

Community) in state-taking of various factors that determine the conditions of a given community, whether that be a neighborhood, a village, city, country, state or nation with a view of providing adequate information for the intelligent planning and carrying out of construction and far-reaching social reforms. (Principles of Young - Scientific Social Surveys and Research, 1946 p.5-6) = 2216 Community is a part of the state. (Principles of Young - Scientific Social Surveys and Research, 1946 p.5-6) = 2216

調査の目的は、社会の現状を把握し、社会問題を明らかにすることである。

地域社会の調査は、社会問題を明らかにし、社会改革の基礎を提供するものである。調査の方法は、アンケート調査、インタビュー調査、観察調査などがある。

社会調査の目的は、社会問題を明らかにし、社会改革の基礎を提供することである。

社会調査の方法は、アンケート調査、インタビュー調査、観察調査などがある。

社会調査の重要性は、社会問題を明らかにし、社会改革の基礎を提供することにある。

社会調査の目的は、社会問題を明らかにし、社会改革の基礎を提供することである。

一 社会調査

二 社会調査

三 社会調査

四 政治的地域 (市町村、道庁、都道府県、国)

調査の目的は、社会問題を明らかにし、社会改革の基礎を提供することである。

これは、地方地縁による、結合の形である。結合
 と、結合の形が、結合の形である。結合の形が、結合の形である。
 結合の形が、結合の形である。結合の形が、結合の形である。
 結合の形が、結合の形である。結合の形が、結合の形である。
 結合の形が、結合の形である。結合の形が、結合の形である。

五 都市共同圏 (Urban Community) (Trade Area)

六 都市共同圏 (Urban Community) (Trade Area)
 都市共同圏 (Urban Community) (Trade Area)
 都市共同圏 (Urban Community) (Trade Area)

七 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)
 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)

七 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)
 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)

八 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)
 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)

九 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)
 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)

九 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)
 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)

十 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)
 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)

十一 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)
 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)

十二 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)
 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)

十三 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)
 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)

十四 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)
 都市生活圏 (Urban Life Area) (Urban Community) (Trade Area)

此物終の均合し、堪た活生、独立の形勢

を形成するに、是は粒積を指すのである
持たせしむる一節をたゞ近隣
を形成して居る。

この均合堪を、活の元合の統一は
近隣である。近隣としての

均合、其の元合もたゞか。なる。

均合、其の元合に近隣し、是を可成か。なる。
持たせしむる元合の均合である。

均合の均合し、一均合か。二つの均合

をたゞ均合し、是は、
一つの持たせしむる一均合の均合か。なる。
次勢力をたゞ均合し、是をたゞ均合と

二つの均合を漸次均合し、是を
均合の均合し、是を均合と

均合の均合し、是を均合と

二つの均合、其の均合、其の均合を新

成す均合である。然し、是は、其の均合

持たせしむる均合である。是は、其の均合

均合の均合し、一均合か。二つの均合

均合の均合し、一均合か。二つの均合

均合の均合し、一均合か。二つの均合

均合の均合し、一均合か。二つの均合

均合の均合し、一均合か。二つの均合

均合の均合し、一均合か。二つの均合

均合の均合し、一均合か。二つの均合

均合の均合し、一均合か。二つの均合

均合の均合し、一均合か。二つの均合

⑥

北極道沿線の都市型と集落型の
比較の調査は必要か

市をあげよう。他の都市の地域

的の統一は皆同質又は都市を

基本として構成されること。

即ち近隣は都市或いは村の

部分又は細胞をなすもの。

其他の地域は今の統一は我々の

都市又は村を単位として

なす居住形成大抵は一般に

同質村型であるのかを問う

たい。これは北極道に

限らず、是の調査は、北極道の

沿線の地帯、南緯、同緯、同緯、都

市生活 看 には何かし都市を甲

心としその辺の若干の村を

云の傘下に納めると 同 位である。

都市を中心とする 同 位は他の

地区とはなく他の村を或は

村を単位とする。

米田における場合には Centre を

Center of Public Community である

同位のものには村を以て中心の

farm である。 同 位は Centre を

同位とする。 同 位は Centre を

同位とする。 同 位は Centre を

その中心にいてたおの。それにはあまの

は事柄の新態を身村のてまの

に村者ぬの珍あま事木と、強く行

節のつおが苦しく有するおのてま。

故ん村にたぬけへ^{集結的}果然お打た

ぬい事なるの事柄をを打たる

公都市又その位民者へ物部^と

千枚服と著し^{新装}、^{新装}、^{新装}、^{新装}

また、果然北の権金け

たおは^はおのてま^はおのてま^はおのてま^は

集りておにたぬけぬてま^はおのてま^は

おのてま^はおのてま^はおのてま^はおのてま^は

おのてま^は

Sanderson: - Rural Sociology and Rural Social Organization, 1942

Gustaf - Urban Society

北海道行政通新領地
北海道自治法概論

△ 都市に大領の多しは存在し都市人の
が大なるは都市内婚の比率が高
いものがある。

行政通新領地北海道自治法概論

都市の大領の地域は存在し、その
形を内婚 △

都市の人口は皆都市に集中する
傾向がある。都市と村に人口

の生活の因果である。人口の一人

一人の脚土がある。人口の一人

農村に存在する。以上を二回

④ ココニ九枚挿入

⑤ 更に八枚挿入

粗粒しよつ、口家と田舎のちよるちよる田舎の

片。然しは客觀的都市にたしよるを

立派すしよるしよる根據がたしよるしよるか。

或はは都市の本質的のちよるしよるしよる

のちよるか。或はは又かくのちよる根據

又は本質的のちよるしよるしよるしよる

又人の正しくそれを認めて序のちよる

ちよるしよるしよるしよる客觀的のちよる

ちよるしよるしよるしよる人の根據による

如き便法的方法を用ゐるしよるしよるしよる

しよるか。思ふにかくのちよるしよるしよる

ちよるしよるしよるしよるしよるしよるしよる

社会的学
の上

日米の用語をその儘に用ゐる上と同
様にして同様の命令等に起る困難があ
る。

一般に用いられる
思ふに都市を云ふ語の意は、その
は異なる、社会的な意味以上である。

故にその本質を把握せしむるに
社会的な意味以外の語は存在せず
かつ、その知識も、~~我々~~吾々が

都市と都市を社会学的に把握す
る場合には、^{その語の持つべき}社会的な意味を以てその都市
と都市を視察せしむるに必要である。

故に
吾人の社会的な意味を以て都市

* ソロキーン及びキリスト教の宣教師は包括的
 な宣教師であつた。然し社会構造に於ける部
 市人の村落の相違に於ては必ずしも然らな
 ず。

Sorokin & Krimmson: Principles of
 Rural-Urban Sociology pp. 5-6-7

Piot & Urban Society

都市化の内容

1. 社会を認めよう。

一、職業、地位、社会階級の秩序

二、環境、自然環境の優位、人為環境の優位

三、都市生活の秩序、社会

四、人の社会、社会

五、市民の社会、市民、人権の意識、心理的

六、社会文化の秩序、社会

七、流動性、社会、社会、社会

八、相互作用の秩序、社会、社会

キリストが強調して居る團體形成の存在

2. 社会はキリストの教へ法に於て

社会生活の秩序

木内紀生「都市地理学研究」

T. Lynn Smith - The Sociology of Rural Life, 1940

農村部の研究 第16-38

1. Occupation

2. Size of Community

3. Density of Population

4. Environment

5. Social Interference

6. Social Stratification

7. Social Mobility

8. Social Interaction

9. Social Solidarity

モリンスミスの考へは明らかでブローキンと

大分その考へは明らかでブローキンと

pp. 92-3

木内紀生氏の都市学定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

学より成る。地理学の定説は地理

注

此の構成

田舎

細帯
細帯
細帯

人々
消費的機械

機械

Marshall & Marx Weber は中世ドイツ

の市況を个別的都市の自之性 他は地理を

強調し 氏ドイツ的都市は比較する

ものとして并ぶ。然しそれら都市の

本質的習性を知るべきはなし。

其の年層を多く吸収し 去るは少く知

人の増加率は高い。人的的の中心に在

消費地を形づくると大都市である。

「その大いに意して、地方、口土乃至は

世界の機關として統治、交易、製造

等の活動に携はるべきである。」

以上は社会的地理論の要諦である。其の

本質は都市の定都の元をその中心とする。

其の定都は定都の元とするべきである。

研究の要諦を知るべきである。

この定都の元を人々、農、業、林、業、を成すものは

「其の元を人々、農、業、林、業、を成すものは

打撃の強弱措置の必要に向いており。

然し定率として既に東京の基礎の

上形成されたと見られる。

昨、あんなに吾人の論議の中心は

多の都市、概して東京は基となる

の事。東京は都市の中心地である。

都市の中心地である。東京は都市の中心地である。

かくの如き表流として余は何も

生業を打つてお目を見たい。

打撃の強弱措置の必要に向いており。

東京の中心地である。東京は都市の中心地である。

打撃の強弱措置の必要に向いており。
東京の中心地である。東京は都市の中心地である。
土地の均等



Kirchoff's 11.2.12

A. Meitzen: Dieutung und Gattungen

der Westgermanen und Ostgermanen,

der Kelten, Finnen, und Slaven,

1895, 4 vols.

91,80 110,120

Larry Nelson, The Norman Village,

a Study in Social Origins, 1930

何事も

社会的特徴はその社会構造のあり
 の特徴である。その社会構造のあり
 の両者の相違はかくつた。社会構造の
 ありは、その相違を、特徴とした。と
 いう。何れも。

何人も都市を経験し、特徴を述べた。
 クリテリオンも述べた。そのありは、
 それを把握し、表現する。か、そのあり
 である。その特徴にかゝる。その社会
 的構造のありは、その表現は都市の
 本質の要素を指す。そのありは、そのあり。
 それはいくつ。特徴のありは、都市のあり。

#

M. S. B. Ginn and E. C. Ginn: —

The Economic and Social History

of an English Village, 1930

Six Henry Summer Maine: —

Village Communities in the East

and West, 1889

Smith de Landry: — Primitive

Poverty, 1878

Harold Perke, The English Village,

1922

Paul Vinogradoff, The Growth of the

Manner, 1905.

M. Nilson: — Medicinal Agriculture

Economy, 1936 

を指すところのものを。

のちのちのち

吾人の自帯の経済のたのむ都市を都
市たらしめ村落を村落たらしめると
その村落のたのむ社会構造のたのむ街
院のたのむと見ゆる。

吾人を改めると村落及び都市のた
のむ構造のたのむ社会構造のたのむ。

T. Lynn Smith: The Sociology of Rural

Life, p. 211, foot-note 1 - #442 120

#443 23 120 12 12 12 12 12 12

Edward P. Cheyney, An Introduction to the

Industrial and Social History of England,
(1916) Chap. II.

英農村的史

Frederic Seebohm: The English Village

Community, 1926,

George Laurence Gomme, The Village

with Special Reference to its Origin,
Community, 1890 (and form of its Survival in
Britain).

F. W. Maitland, Domesday Book and Beyond

1897.

#

132

柳永

柳永

柳永

柳永

柳永

柳永

柳永

柳永

柳永

柳永

柳永

柳永

住宅

及んば可成りである

可成り高の住宅

の一種

可成り高とは人間の住居本意の空間的

地上に定着して居る

態の一彼の特色を認めれば、ものである。

大は大都市より小は二三軒の集合住居

に主として可成り高である。最も可成り高の

集合住宅に於いては、浴り可成り高に於ける。

湖上の可成り高とか、海上の可成り高も、

地上に定着して居る。可成り高の

一つの可成り高の一つの可成り高が成立するとは、

たゞ、可成り高の水は他を合して可成り高の

とし、大なる可成り高は二つ以上の可成り高に

可成り高の組合には、果す可成り高の一種の

可成り高の組合には、果す可成り高の一種の

可成り高の組合には、果す可成り高の一種の

可成り高の組合には、果す可成り高の一種の

可成り高の組合には、果す可成り高の一種の

可成り高の組合には、果す可成り高の一種の

十行 廿字詰

申すな又立命在人に

思ひはく。

都市と農村の別は、面々は昔に果敢に於て

有るから、共同防衛の機能と無事防衛的の

活の機能をもつて、此の方、都市には是の外更

に社会的交流に於ける、都市の機能を示し

是より、是より、両者の別を明かにする。

都市の機能は、今般に都市と呼ばれて

居るものより、此の種の機能を示す。

よと見られる。

一 統治的機能は、都市の政治的機能

一 治安的機能は、

一 経済的機能は、

一 教育的機能は、

一 交通的機能は、

此の各機能は、都市の機能として、互に

互に機能の中を互に補完するものとして、互に

互に機能として、都市の機能として、互に

互に機能として、都市の機能として、互に

互に機能として、都市の機能として、互に

都市の機能は、都市の機能として、互に

都市の機能は、都市の機能として、互に

職業生活の關係は人の關係は商業活動の内に收まる。

この点なく、他の都市や村落、引いては国家的に關係を以てする。人が商業活動の内々に關係をもつて居るには

毛中野先生に於いての言、住長は皆その都市の内々に食ひしむるに於て。人は皆どこかの商業活動

の内に居りしむるに於て。食ひしむるに於て。商業活動の不可分の關係の存在である。生活の

關係に於ては人は人口大に其關係を以てする。都市

の關係に於ては、商業活動が人口大の關係に

於いては、その商業活動を以てするに於ては、

商業活動の關係に於ては、都市の境は

都市

商業活動の關係に於ては、都市の境を設けず。

商業活動の關係に於ては、都市の境を設けず。

都市住民の全部が消費者

消費者

100%

市域や都府県界を越えて

の生活

行商人

都市住民にサービスする

職(業)

市の中心部

市域外の

都市住民の生活にサービスする

職(業)

郊外の中心部

近郊圏

都市住民の生活にサービスする

職(業)

郊外の中心部

集落

都市住民にサービスする

職(業)

郊外の中心部

その範囲が一部の人を養う消費は消費者を養うというわけにはいかない

月 月 月 月

人は此の消費を必要とする。けれども、中には

消費が生産を必要とする

生産を必要とする。人は相互に消費する。

この消費による生活は、生活して行くか

接する。人々の地域は固定して行く。

各住民の固定した生活地域の連続、累積

が独立した地域を形成する。それが生活

圏の形成である。生活圏の形成は大抵累積

と同様に進む。それは累積の生活圏である。

代價を拂つてサレ、トスを賣つた人、のサレ、トス

敷、市外に在り、市外の商人、サレ、トス、のサレ、トス、

肉見

市外にサレ、トス、を賣つた人、
市外にサレ、トス、を賣つた人、
(余方は市外に在り)

市外に在り、
市外に在り、

市外にサレ、トス、を賣つた人、
市外にサレ、トス、を賣つた人、

他市外、
行商人、
通勤者

市外にサレ、トス、を賣つた人、
市外にサレ、トス、を賣つた人、

他市外

市外にサレ、トス、を賣つた人、

一般市民

市外に在り、市外に在り、市外に在り、

市外に在り、
通勤者

市外に在り、市外に在り、市外に在り、

市外に在り、
通勤者

市外に在り、市外に在り、市外に在り、

他市外

市外に在り、市外に在り、市外に在り、

市外に在り、市外に在り、市外に在り、

市外に在り、市外に在り、市外に在り、

④

今の群に足るよ散居的集居形態は何れも
 何か特殊の工業的行情のせいで起つて、計画的
 集居であつて、人間の原始的な生活形式は密
 居的集居の中に存して来た様に思はれよ。即
 ち人は地盤の何れかの一^島に集り密居的集
 居を形成し、それ未満の島の群に集ると陸
 地の上を覆つて来たのであつて、決して他人
 にくみ又は家族毎に散居す。極な生活形式は
 とつて来たから、^{とつて}文化が飛躍して来たからに似る
 今白くは集居するは力は五十斤の山村より

以上第二回

◎好意にすく受てもあるが、多くは冷厳な、計算的取引である。而して意欲の加算の人へのサービスマンであると共に、買収のは、買収の人へのサービスマンである。

案に於いては、自らのホトも、他...
 得るを共に、他の種別を他...
 ◎市役所後の区所の...
 取捨選択の回極の...
 他に物を...
 高橋...
 形成して...
 夏菜の...
 今女...
 今に...

市役所外の...
 市役所内の...
 市役所の...
 市役所の...
 市役所の...

...
 ...
 ...

「何か街路の子持の身をとる下は

坊合しませ、又先階整束の事をおつた時

は大原の二、三の生活協同体に分れる

予と可成り交るゑとて年々

戦時時代、軍民の生活は、少くも

右時代には、専ら生活は甚しく自給自給的

であつたが、生活は近代に下り格別の

本家の先頭に新築土木、及び附近の田舎

への伝播、何れも若しく増して来た。この概

が概なる通り、米田のろくに、三つ三つ

格になること、はあ、その場合、はあ、

本合体内の。合併する点には色々の調整が必要である。合併して片々分断
 する。以上の概算の合併して片々分断する。本合体内には生活協同の社会団体を
 する。以上の概算の合併して片々分断する。本合体内には生活協同の社会団体を

東協記号及合併して一
 して五の割合と行れ。これは一
 周回には五年度に多額の東協記号を
 五と左へも五。その後の東協記号
 の都市と本合併して一
 五と左へも五。この五は幾
 の大都市に一つ五。自然の
 都市と左へも五。一つの東
 東協記号と左へも五。この五は幾
 の大都市に一つ五。自然の
 都市と左へも五。一つの東

の協同組合の合併して片々分断する。本合体内には生活協同の社会団体を
 する。以上の概算の合併して片々分断する。本合体内には生活協同の社会団体を

① ② ③ ④

来るして、
 都市の人口の増加と共に、
 郊外に人口が集中する傾向がある。
 これは、都市の中心部に限らず、
 郊外にも見られる現象である。
 これは、都市の発展に伴って、
 郊外に人口が集中する傾向がある。
 これは、都市の中心部に限らず、
 郊外にも見られる現象である。
 これは、都市の発展に伴って、
 郊外に人口が集中する傾向がある。
 これは、都市の中心部に限らず、
 郊外にも見られる現象である。

大抵の都市の中心部を
 意

相互
 関係

郊外に
 人口が
 集中する

に於ける相互依存関係

① 相互依存関係の生活態度の限局は常にその

相互依存のあり方によってその相互依存の

② 相互依存のあり方によってその相互依存の

相互依存のあり方によってその相互依存の

相互依存のあり方によってその相互依存の

その相互依存のあり方によってその相互依存の

(その相互依存のあり方によってその相互依存の)

打控と都市と果敢のつてあると云い起いしは
 同一である。只都市には諸弊を止むの爲の
 機能があり、その爲の機能がある。互に打ち
 合はせ、機不可失とせよ。
 都市と打控と果敢のつてあると云い起いしは
 協同の行をなして、都市の考慮に於いて、時
 に必要ならば、回りの地を認め、其の五小卒の
 間に、この都市の形を、精選に、その形を
 取つ

新研究

其の第一は第一の

果樹栽培の

植樹の

（その後の）

カリシヤのボリヤの住民は主として農業牧畜

の人故である。現地の市民は地主である。其の

又曰く、その間の他の各地方の如く、^{（その後の）}工業的

にはなく、空手、沖、^{（その後の）}たのむかひ、^{（その後の）}

（思ふに、^{（その後の）}）

富事のれか）

夕キタノの傍()はケルマニアの海(海)に
 かに散(ち)るの跡(あと)である。然(しか)しそれ程(ほど)遠(とほ)くは有(あ)り
 丸(まる)居(い)住(ぢ)いしぬの跡(あと)である。火(か)の跡(あと)が有(あ)る
 水(みづ)の跡(あと)の現(あら)わらうしぬの跡(あと)も有(あ)る。ほこれ程(ほど)
 いしぬの跡(あと)は有(あ)る。又(また)御(ご)祭(まつり)の形(かたち)は百人(ひゃくにん)祭(まつり)
 を一(ひと)回(かい)いす。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち
 有(あ)るゆゑにわの()は^{22年(にじふねん)か(か)二(に)年(ねん)は}遠(とほ)く^{二(に)年(ねん)は}一(ひと)回(かい)いす。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち
~~中(な)か~~ありてありてこの()申(ま)わう御(ご)心(こころ)堪(た)へる。

のをを~~あ~~して降(くだ)るは~~は~~は。すなはちこの()は百人(ひゃくにん)祭(まつり)
 にあつた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち
 ()を~~あ~~して降(くだ)るは~~は~~は。すなはちこの()は百人(ひゃくにん)祭(まつり)
 ()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち

()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち
 ()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち

()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち
 ()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち

()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち
 ()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち

()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち
 ()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち

()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち
 ()に~~あ~~つた()とともともいふことである。又(また)夕(ゆ)キタノは一(ひと)即(すなは)ち

ちよつと少しは嗜せたい。のりたうすきにはあまた
場の者(まじり)は合體を導くは舞臺
勵を水(さ)す。のりたうすき。P40
結核がその中より兵士を立する百景(百景)の
如何に願望(ねが)をたててあうか(か)が(か)る(る)を(を)録
とす。

又土地は「御座候」の給(たま)ふ者(もの)有(あ)り
これをも據(もと)し世(よ)に片(かた)た。御座候(まゐ)り
す。土地を(と)り他人(たにん)の分(ぶん)配(はい)して他人(たにん)は(は)る(る)土地(ち
一部(いちぶ)を(を)耕(か)ち播(は)種(たね)す。大(お)きく(く)他(た)の(の)部(ぶ)分(ぶん)は(は)あ
いせとおぼし年(とし)に自(ま)己(ご)の(の)管(かん)理(り)し。耕(か)ち(は)る(る)他(た)の(の)部(ぶ)分(ぶん)は(は)あ
撰(せん)地(ち)し。片(かた)た。中(な)か(か)の(の)甚(し)き(き)者(もの)知(し)り(り)し(し)片(かた)た
下(した)あ(あ)る(る)と(と)い(い)ふ(ふ)人(ひと)も(も)あ(あ)る(る)。こ(こ)の(の)土(ど)地(ち)物(もの)の(の)と
二(に)部(ぶ)分(ぶん)あ(あ)る(る)は(は)。数(かず)多(た)く(く)あ(あ)る(る)と(と)い(い)ふ(ふ)と(と)あ(あ)る(る)
の(の)種(たね)し(し)は(は)あ(あ)る(る)。

御座候(まゐ)り(り)た(た)如(ごと)く(く)何(なに)に(に)當(あた)り(り)て(て)舞(ま)臺(たい)の(の)か(か)ら(ら)へ(へ)と(と)あ(あ)る(る)し
こ(こ)の(の)片(かた)た(た)は(は)御座候(まゐ)り(り)た(た)如(ごと)く(く)舞(ま)臺(たい)の(の)か(か)ら(ら)へ(へ)と(と)あ(あ)る(る)し
し(し)こ(こ)の(の)片(かた)た(た)は(は)御座候(まゐ)り(り)た(た)如(ごと)く(く)舞(ま)臺(たい)の(の)か(か)ら(ら)へ(へ)と(と)あ(あ)る(る)し
は(は)強(つよ)く(く)あ(あ)る(る)と(と)い(い)ふ(ふ)と(と)あ(あ)る(る)し(し)片(かた)た(た)は(は)御座候(まゐ)り(り)た(た)如(ごと)く(く)舞(ま)臺(たい)の(の)か(か)ら(ら)へ(へ)と(と)あ(あ)る(る)し
う(う)と(と)あ(あ)る(る)し(し)片(かた)た(た)は(は)御座候(まゐ)り(り)た(た)如(ごと)く(く)舞(ま)臺(たい)の(の)か(か)ら(ら)へ(へ)と(と)あ(あ)る(る)し

かど P.83

ケンマニ 江守 今カヨニいて 都市 田舎
たつと P.65 村であるが、戦時の防衛 或は田舎
の中心 局 同の地 是、亦た 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
現考して 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
構 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
「町 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
「尤 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
り、亦た 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
「是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
の 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
公 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
生 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
P.66

「田 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
とし 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
相互 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
れよ。 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ
P.95 土地 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ 是れ

P.65

此調書項目設置には次の法を考へて考へた

一、考へて考へ

一、生活の社会的接觸に關するものこと

(同の關係として)

二、相接觸する人々をその居た位置に置く

三、考へて考へ

三、生活上の接觸の社会的接觸

四、生活態度、思考傾向の如何に物事を理解

かゝる項を考へ

五、宗族又は世帯單位に考へて考へ

六、職務の位置は各處に於て考へ

西洋の模倣を避

又如何に視察を考へ

郊外地輕便車線

行政市界りの内外の景観

市外地に移住者は市内景観の人か。市外の子供の人か。家を建てるのは市内の人か。市外の人か。

地味への移住は市外の人か。市内の人か。市内の人か。市内の人か。

市外への移住は市外の人か。市内の人か。市内の人か。市内の人か。

市外への移住は市外の人か。市内の人か。市内の人か。市内の人か。

市外への移住は市外の人か。市内の人か。市内の人か。市内の人か。

市外への移住は市外の人か。市内の人か。市内の人か。市内の人か。

市外への移住は市外の人か。市内の人か。市内の人か。市内の人か。

足立とサードエリア

（先住協同体は生活必需品自給圏です。）

この圏を越えて他地より中帯を求めようとする人は、サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。

線を描く方が楽な気がする。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。

サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。

サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。

サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。

サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。

サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。

サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。サードエリアか。